

3-3 数値目標

基本目標ごとに、数値目標を次のように設定します。

■基本目標1 持続可能性の向上

目標指標	現況及び目標値			設定方法	資料
	駅、路線	現況 R6年度	目標値 R12年度		
鉄道駅 年間利用者数	東員駅	169,464人	171,000人※	第4次いーとこ定住自立圏共生ビジョンの目標値に連動	交通事業者提供 (4月～翌年3月)
	穴太駅	112,338人	113,500人※		
	北勢中央公園口駅	78,588人	78,600人		
路線バス年間輸送量 (1日平均)	桑名阿下喜線	46.2人/日	51.6人/日	令和元年度の実績を目指す	交通事業者提供(前年10月～当該年9月)
	イオンモール東員線	42.9人/日	43.0人/日	減少傾向のため現況値以上を目指す	
タクシー助成利用者数	-	311枚	320枚	現況値より増加を目指す	東員町提供 (4月～翌年3月)

※第4次いーとこ定住自立圏共生ビジョンでは、R11に2駅で284,000人、年500人増加としているため、R12は284,500人に設定。東員駅と穴太駅の配分はR6現況値の割合で設定。

■基本目標2 利用しやすい環境の構築

目標指標	現況及び目標値		設定方法	資料
	現況 R6年度	目標値※ R12年度		
オレンジバスを普段利用している町民の割合	5.1%	7%	第6次総合計画策定時の令和元年度実績(6.5%、17.3%)の水準を目指す	東員町まちづくりアンケートで確認(R12年度に実施)
鉄道(北勢線、三岐線)を利用している町民の割合	15.3%	17%		

■基本目標3 ニーズに対応したオレンジバス再編・新たな移動手段の導入を推進

目標指標	現況及び目標値		設定方法	資料
	現況 R6年度	目標値 R12年度		
オレンジバス利用者数	75,705 人	78,000 人 ^{※1}	新型コロナ禍後の増加率平均をもとに設定	東員町提供 (前年10月～ 当該年9月)
オレンジバスの収支率 (運賃収入÷運行委託費用)	15.6% ^{※2}	16.0%	運行委託費用は維持し、運賃収入は利用者数増化率と同じと設定	東員町提供 (4月～翌年3月)
オレンジバスの利用者一人あたり国、町の費用負担額	873 円/人 ^{※3}	843 円/人		

※1 オレンジバスの利用者数が、新型コロナ禍後に増加に転じた令和3年度～6年度の増加率は年平均0.4%。このまま増加すると仮定すると令和12年度は2.4%増。

現況の75,705人×1.024=77,522人≒78,000人に設定。

※2 令和6年度の運行委託費用78,288,766円、収入12,215,779円より、収支率15.6%。

収入は運賃収入であり、国からの補助金及び交付税を含まない。

※3 R6年度のオレンジバス利用者一人あたり国、町の費用負担額は、
(78,288,766円-12,215,779円)÷75,705人=872.8円/人≒873円。

■基本目標4 魅力向上と利用促進

目標指標	現況及び目標値		設定方法	資料
	現況 R6年度	目標値 R12年度		
おでかけ元気バス事業の利用者数	20,994 人	21,500 人 [※]	オレンジバス利用者数増加率と同じと設定	東員町提供 (4月～翌年3月)
運転免許証の年間返納者数	110 人	120 人	現況値より増加を目指す	いなべ警察提供 (4月～翌年3月)

※ オレンジバス乗車人員の増加率2.4%増と同じとし、20,994人×1.024=21,498人≒21,500人